

はるかの便り

JA KITAHARUKA
PR brochure



vol.185

2020.9月号

美深地区馬鈴薯（男爵）の収穫風景

中瀬前組合長
JA北海道厚生連
代表理事長並びに
JA共済連北海道
運営委員会会长に就任
代表理事組合長に小林治雄氏

中瀬前組合長が、6月23日付でJA北海道厚生連代表理事長並びにJA共済連北海道運営委員会会长就任に伴い、通常総会および理事会において新執行体制が次のとおり選任されました。

【新執行体制】

(新) 会長理事
中瀬 省
(新) 代表理事組合長
小林 治雄

会長理事就任の
ご挨拶

会長理事 **中瀬 省**

拝啓 皆さまにおかれましては、
時下ますますご清祥のこととお慶
び申し上げます。

私事ではございますが、6月23
日開催の通常総会および理事会などにおきましてJA北海道厚生連
の代表理事長、JA共済連北海道 運営委員会会长を拝命いたしま
した。

JA北はるか代表理事組合長在任中は公私とも格別の御指導とご
厚情を賜り、おかげをもちまして大過なく重責を全うさせていただきま
したことを衷心より厚くお礼申し上げます。

これからは、小林代表理事組合長のもと、JA北はるかが益々ご発
展されますことを願っております。新型コロナウイルス感染症が終息し
ないなか、経済はもとより農業およびJAを取り巻く情勢が一段と厳
しさを増している今、その課せられた職責の重大さを痛感しております
が、引き続き皆さまと一緒に北海道農業ならびに地域づくりを支える
所存でございますので何卒倍旧のご指導ご支援を賜りますようどうぞ
宜しくお願ひ致します。

敬具

追伸 組合員ならびに職員の皆さん、札幌へ来られた折りには是非
立寄っていただければ幸いです、お待ちしております。



2020.9 もくじ

中瀬会長理事挨拶	2
小林組合長挨拶	3
東京大田市場特集 南瓜	4
組合員家族紹介 中川・下川	5
組合員家族紹介 美深・フォトレポート 美深	6
フォトレポート 美深・下川	7
フォトレポート 中川・理事会報告・行事予定	8
広報誌ネーミング募集・オリジナルレシピの公開	9
営農情報	10
J Aグループ通信	11
警察より・組合員の異動・編集後記	12

今月の
表紙



美深地区馬鈴薯(男爵)の収穫風景

馬鈴薯の収穫作業が8月17日から町内西里地区より始まりました。北はるか管内では男爵・北アカリなどサラダ原料として使用される生食用が22ha・ポテトチップスなどの加工向けは4ha程度を作付しております。

小林組合長就任挨拶

代表理事組合長
小林 治雄



去る6月26日に開催された臨時理事会において代表理事組合長に推挙され選任いただきました中川地区の小林治雄です。よろしくお願いします。

今回の執行体制変更は中瀬前組合長が北海道厚生連の会長に就任したことに伴います。組合員の皆様にあっては突然のこと驚かれたと思います。11年の長きにわたり北はるか農協を引っ張ってこられた中瀬前組合長がこの時期に代表理事組合長から非常勤の会長になることは北はるかにとって大変大きな出来事です。私を含め多くの組合員・役職員はこの先も中瀬前組合長のもとでの農協運営が続いていくことが当たり前と思っていたのではないでしょうか。

今回、中瀬前組合長より組合長を引き継いでほしいとの話をいただいたときその責務の重さと自らの未熟さに躊躇しました。常勤として働くと言うことは私個人にとっても、家族にとっても、我が家の経営にとっても大きな問題でした。そして一番大きな問題は私に組合長が務まるのかという事でした。

自分に農協の経営判断をする能力があるのか、その重圧に耐えられるのか。不安はつきませんでしたが中瀬会長の人を見る目を信じて決断した次第です。

今年5月、北はるか農協が発足して18年目を迎えました。3農協広域合併という事もあり合併当初は主要作目の違いや習慣の違いがこともすれば地域の垣根として目立つこともありましたが、営農組織役員や農協役職員そして何より組合員の皆様の不断の努力により広域・多品種・多形態をメリットに変え特色ある北はるかへと変わりつつあるように感じています。

今後の農協経営を考えた時、経済のグローバル化を目的とした農産物や金融の過度な自由化や規制緩和だけが正しいという改革論議がありますが、富めるもの・強いもの・声の大きなものの圧力による変革ではなく私たちの生活や地域を良くするための内からの変革が大切ではないでしょうか。しかしこれはむずかしい事もあります。与えられた事を行うのは容易いが自ら考え変わるのは簡単ではなく、とても面倒くさい事だからです。しかしうまく回っている組織や企業、良い経営の農家や法人はこれを行っています。一見ワンマン経営に見えても多くの意見を吸い上げ組織の中の個ではなく全体(あるいはより多くの構成員)のためにどう変えるべきか、どう変わるべきか考え行わわれています。

今後否応なく迫ってくる農協改革・組織再編に向けてもこういう考え方大切にしていきたいと思います。

コロナ禍に始まった令和2年ではありますが農作業や健康に留意していただき豊穣の秋を迎えていただることをご祈念申し上げ就任挨拶とさせていただきます。

南瓜



お話: 東京青果株式会社 鈴木 剛 課長



● 北はるか産南瓜の販売状況について（8/17現在）

現在はハウスものを少し販売しています。仲卸・小売ともに評判がよいです。今後、本格的な出荷が始まります。品質が良く数量が安定している産地としてしっかりと売り込みをしていきます。

● 令和2年産の南瓜販売環境について

本年は6月以降の天候が悪く九州から関東の南瓜の産地では作柄がよくありませんでした。その為、例年より高い相場で推移しました。しかし、盆前の入荷量も少ない見込みだったため店での売り場面積の減少と盆中の暑さもあり末端での荷動きは大幅に鈍くなりました。今後はまずは売り場面積の拡大をすることが重要になります。北海道の各産地の情報をしっかりとつかんで量販店・小売に売り込んでいきます。南瓜の絶対量は決して多くない見込みなので安定した販売ができるように努めています。

● 北はるか産南瓜の市場・お客さんからの評価

9月より11月中旬まで「JA北はるか」の南瓜と謳って継続して販売できることから、出荷期間中、「JA北はるか」以外の南瓜は販売しないというお客さんもいらっしゃいます。また、新規のお客さんに紹介して販売するときも、注文を「おかわり」されること多く、評価の高まりを感じています。

● 生産者に励ましのことば

JA北はるか南瓜の生産者の皆様、いつもお世話になっております。暑さの厳しいなかでの南瓜の生産ありがとうございます。

今、日本の南瓜の生産力は高齢化や労力不足で毎年落ちてきています。そのなかでJA北はるかはトップクラスの生産量のある産地として年々重要度が増しています。皆様のお力があって安定した南瓜の流通につながっています。これからも、南瓜の生産をどうかよろしくお願ひします。

組合員紹介

中川

やまだ

ひさし

山田 久さん

プロフィール

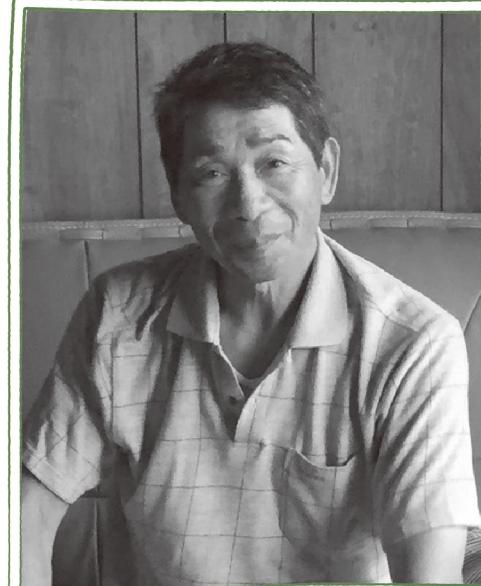
家族構成 山田 久（やまだ ひさし）
妻 由紀子（ゆきこ）
長男 保弘（やすひろ）

経営規模 酪農 経産牛 54頭 育成牛 35頭
放牧地・採草地 70ha

農業の魅力 多くの自然に触れ、自分の考えや計画に沿って働くことができること

農業に取り組む中で大切にしていること
基本的に忠実に、無理のない範囲で取り組む

今後の展望 体に気を付けながら、可能な限り頑張りたい



下川

おばら

もとあき

小原 意玲さん

プロフィール

家族構成 小原 意玲（おばら もとあき）
妻 恵美（えみ）

経営規模 施設野菜
フルーツトマト 375坪（養液栽培）
615坪（土耕栽培）
水 稲 9.5ha
蕎 麦 15.5ha
春小麦 18.9ha
秋小麦 18.7ha

農業の魅力 変わりゆく四季の中で、作物の成長と自然に立ち向かう姿勢が農業の醍醐味だと思う

農業に取り組む中で大切にしていること
作物の観察と栽培技術の向上

今後の展望 フルーツトマト栽培の技術の向上と
增收を目指していきたい



美深

まつうら

まこと

松浦 誠さん

プロフィール

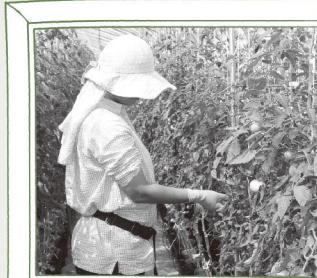
家族構成 松浦 誠（まつうら まこと）
妻 奈美枝（なみえ）

経営規模 畑作 南瓜 4.5ha、小麦 2.4ha、
フルーツトマト 2 棟、
ホワイトアスパラ 2 棟

農業の魅力 一から計画をたてて自分たちでそれを完成させる事にやりがいを感じる
計画通りにいかない事や失敗もある
けど試行錯誤しその壁を乗り越える
達成感も魅力

農業に取り組む中で大切にしていること
楽しく仕事をする事に努めている

今後の展望 今作っている作物を自信もって出来る
ようになったらハウスの棟数を増やしたり他の農作物にも挑戦してみたい



美深

外崎敬雄氏農業委員会会長退任慰労会 並びに恩根内営農集団家族の集い開催！

8月8日、恩根内営農集団で畜産部会パークゴルフ大会・家族の集い交流会が恩根内倉庫で行われました。パークゴルフ大会は一番牧草の収穫作業が終了し、少し落ち着いたこの時期の恒例行事となっております。

生産者、農協役職員併せて19名がパークゴルフに参加し、前日の雨で足元が悪く長い芝生に苦戦しながらも熾烈な争いが繰り広げられた中、圧巻のホールインワンもあり、見事に藤本博さんが優勝しました。

パークゴルフ大会終了後は農業委員を10期30年間にわたり務め、美深町の農業発展にご尽力されました外崎敬雄氏の退任慰労会及び交流会を総勢29名で行われました。外崎氏から「地域農業の発展に貢献できたのではないかと思っております。これからは藤本博さんが尽力し美深町の農地を守りまた、地域を盛り上げて頂けると思っております。」と挨拶され、古川陽さん、高附薰さんより記念品・花束が贈呈されて盛大に執り行われました。



パークゴルフ開始前の和やかな風景



外崎敬雄・光恵さんに記念品・花束贈呈

Photo
Report

美深

北はるか女性部スズラン会研修旅行

Photo
Report

7/20スズラン会会長近野真奈美さん他7名、JA職員2名で研修旅行を開催しました。まずは上川町「大雪森のガーデン」に行き、「森の花園」「大雪な庭」「四季のすみか」など5つのテーマガーデンにそれぞれ特徴のある植栽を廻り、個性あふれる植物に触れました。又、ウッドボールが転がりながら音楽を奏でる全長40メートルもある「森の木琴」に挑戦したり、ツリーテラスに登りと楽しく体を動かしながら散策を楽しみました。

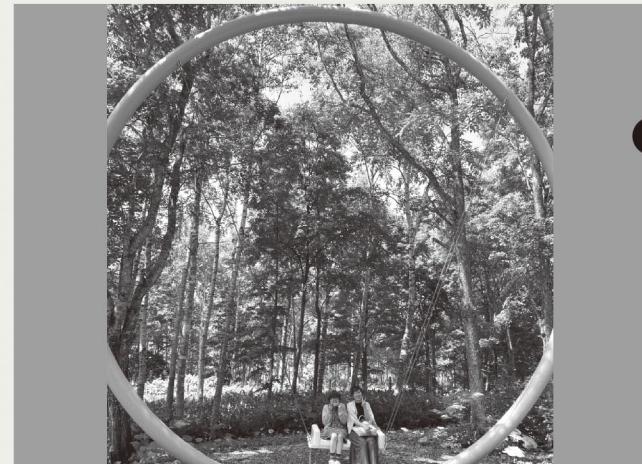
午後からは三國清三氏がオーナーを務める「フラットロ・ディ・ミクニ」レストランに移動し道産食材にこだわったコース料理を写真に収めたり、景色を見たりしながら「有名な三國シェフのイタリアンフルコース料理を堪能したり、子供にもテーブルマナーを教えたりもできる普段味わうことのできない事を経験した一日だった。」と話し和やかな時間を過ごす事が出来ました。



三國シェフレストランでの1枚



森のガーデン集合写真



森の中での大きなブランコ

下川

農業大学校の学生による総合実習が行われました

下川地区の吉田公司さん宅にて8月3日～9日の1週間、北海道立農業大学校研究課程農業経営研究科の市橋明日香さんが施設園芸作物の実習を行うため来町しました。

畑作園芸経営学科に在籍中に園芸作物の栽培を行っておりましたが、肥培管理等が難しく、今回の実習で園芸作物栽培の技術や知識を習得したく総合実習を計画したことです。

吉田さんから施設管理の指導を受けながら、トマトの栽培管理や収穫、選別作業を学び、将来、家業の農業を継ぎ、水稻と畑作物中心の経営に施設園芸作物を取り入れた経営を目指しており、「今回の実習の経験を生かし就農に向けて頑張りたいと思います。」と語っていました。



真由美さん

市橋明日香さん

吉田公司さん



楽しく実習している様子

8月7日、中川地区SOILで電気柵の施工勉強会を開催しました。今回はサージミヤワキ株式会社より宮脇様、寺山様をお招きして、新規就農を予定している横山さんの牧場にて開催することとなりました。今回の研修では、新規就農予定者を中心として総勢11名で行いました。あいにくの雨天での開催となってしまいましたが、電気柵の一連の取り付け作業を行いました。これからの就農へ向けて、良い勉強の機会になったと思います。



現地に移動し作業している様子



電気柵に使うワイヤー作業風景

理事会報告

第5回 理事会 6月10日(水)

■報告事項

1. 4月末 財務状況について
2. 各部からの報告事項について
3. 担い手農家巡回報告について
4. 令和元年度(H31)上川管内農協実績について
『別紙』

■決議事項

- 議案第1号 第1四半期 監事監査の報告について
- 議案第2号 JA財務モニタリングの報告について『別冊』
- 議案第3号 マネロン等に係るギャップ分析について『別冊』
- 議案第4号 利用業務規程(別表)の改定について
- 議案第5号 夏季手当の支給について
- 議案第6号 新設酪農法人への出資について

第6回 理事会 7月27日(月)

■報告事項

1. 6月末 財務状況について
2. 各部からの報告事項について
3. 第2四半期 監事監査の実施について
4. 担い手農家巡回報告について
5. 地域社会貢献活動中止について
(少年野球大会・パークゴルフ大会・ゲートボール大会)
6. 令和元年度 出資金の増減について

7. 令和元年度(H31)留萌・宗谷管内農協実績について

8. 地方祭・お盆の業務日程について

■決議事項

- 議案第1号 営農懇談会の実施について
- 議案第2号 「経営基盤強化積立金要領」の変更について
- 議案第3号 顧客属性照会システム定期確認結果について『別紙』
- 議案第4号 体制整備モニタリングの報告について
- 議案第5号 新規就農者への貸付について(青年等就農資金)
- 議案第6号 特定組合員の営農計画の進歩状況について『別紙』

第1回 臨時理事会 6月26日(金)

■決議事項

- 議案第1号 代表理事の選任について
- 議案第2号 会長理事の選任について
- 議案第3号 組合長理事の選任について
- 議案第4号 中川地区代表理事の選任について
- 議案第5号 役員報酬の配分について
- 議案第6号 理事の順位の設定について

9月行事予定

25日(金) 第8回 理事会

広報誌ネーミング募集!

ホームページのリニューアルに伴い、北はるか広報誌も皆様に見やすく、わかりやすくお伝えできるようにデザインを一新する事に致しました!そこで、更に親しみやすい広報誌にしていく為、組合員よりネーミングを募集いたします!!

応募方法

氏名・住所・電話番号・北はるか広報誌新ネーミング・

広報誌へのご意見等お書きの上、
こちらまでご応募お願ひいたします。

応募先

〒098-2220

中川郡美深町字大通北2丁目12番地

TEL 01656-2-1601(代表)

FAX 01656-2-2225(営農課)

J A 北はるか 営農販売部 営農課 営農係

締め切り

令和2年10月30日(金)

当選発表

本誌12・1月合併号

採用された方には

商品券10,000円分を贈呈致します。

奮ってご応募お待ちしております。

応募用紙をお使い下さい。



HPでJA北はるかの オリジナルレシピを公開しました

毎月JA北はるかでとれる美味しい野菜を使い、より美味しく食べられるオリジナルレシピを更新していきます。不定期に皆さんができるオリジナルレシピも募集しますので、あなたのレシピがHPに公開されるかも!

是非、みなさんもオリジナルレシピに挑戦してみてください!





かぼちゃの風乾場所の準備～歩留まり向上を目指して～

かぼちゃ腐敗の主原因は『つる枯病』



つる枯病による果実腐敗は収穫一ヶ月頃から発生します。このため、収穫時に無症状でも貯蔵中や出荷後に発病・腐敗が進み、歩留りが低下するだけではなく、出荷先や消費先で腐敗して産地の信用問題となります。

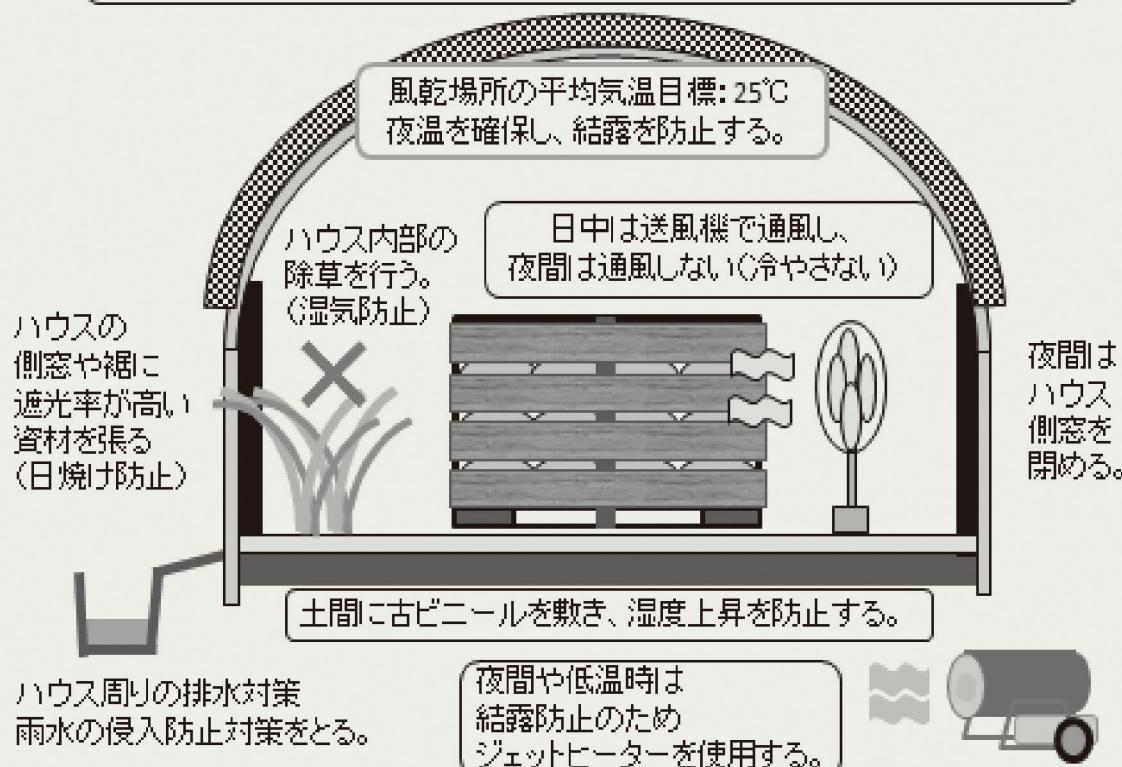
今年は着果後の降雨日が多く、つる枯病による果実腐敗に注意する必要があります。

風乾環境改善のポイント

果実の腐敗防止対策は、収穫時の病害果や傷果・未熟果混入の防止が基本ですが、歩留まり向上対策として『風乾』環境の改善がポイントになります。

できる所から改善し、7～10日間しっかりと風乾しましょう。

- 天井の遮光資材は、遮光率80%程度のものを使用する。
- 遮光資材は天井ビニール(POフィルム等)の上に張り、保温性を確保する。





J A グループ北海道が一丸となって「AGR ACTION! HOKKAIDO」(アグリアクション北海道)を開始します!

コロナ禍において道民の皆様に対し、北海道農業から行動を起こすことで、農業と人、農村と都市、生産者と消費者の関係のあり方を見直していただくべく、次の3つを大きなテーマとしてアクションを起こします。

①食料自給率に関する理解促進

②パラレルノーカー

農業には多様な働き方があるということを道民の皆様に理解してもらう。

③北海道農業を応援し、食べていただいている道民の皆様に日頃の感謝を伝える

今後、特設サイトにてコンテンツを充実させていきます。

皆様もJAグループ北海道とともにアクションを起こしましょう!



JA北海道中央会

JAグループ北海道



●アグリアクション北海道
特設サイト
二次元バーコード

JAバンクのキャラクター

「よりぞう」は、2019年に新たな仲間に加わり、お客様に寄り添うイメージでPR活動を展開、JAバンクLINE公式アカウントのお友達登録数は3百万人を突破しました。

そして今年、「よりぞう」は最後の「ゆるキャラグランプリ」となる、「ゆるキャラ®グランプリ2020」にエントリーしました。

投票は9月25日まで、投票方法はJAバンクHPをご確認ください。



JA北海道信連



JA共済連北海道

JA共済連北海道は、大規模災害への備えとして『防災用簡易ライト』を全道の正組合員約5万世帯に2本ずつ各JAを通じて配布することとしました。このライトは、電池式ではなく、折り曲げるだけで点灯するライトで、停電時の代用灯として10~12時間発光します。安全かつ簡単に使用ができるので、どなたでも使用でき、停電や地震時の備えになるものです。今後も、組合員・利用者の方々が、豊かで安心して暮らせる地域社会づくりを目指した取り組みを実施してまいります。



ホクレンは、新型コロナウイルスの影響により、毎年秋に開催してきた「大収穫祭」のうち、札幌三越での会場販売を残念ながら中止でしたが、恒例の「北海道みのりの秋ギフト」の全国発送は、収穫の秋を実感できる商品を厳選して9月1日から11月1日まで申し込みを受け付けています。

詳しい情報は、ホクレン、札幌三越のホームページなどで順次、提供しています。



ホクレン



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るために、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



J A グループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。





1 秋の全国交通安全運動の実施 ハイビームこまめに活用事故防止

(1) 「秋の全国交通安全運動」が実施されます！

○運動期間

9月21日（月）～9月30日（水）の10日間

○運動重点

ア 子供を始めとする歩行者の安全と自転車の安全利用の確保

イ 高齢運転者等の安全運転の励行

ウ 夕暮れ時と夜間の交通事故防止と飲酒運転等の危険運転の防止

(2) 交通事故防止のポイント

○ドライバーの皆さんへ

夕方から夜間にかけて、歩行者や自転車の見落としや発見遅れによる交通事故を防ぐために、対向車や前車がいない時は、ライトをハイビームに切替えましょう。特に、右から横断してくる歩行者に注意しましょう。

運転する前に、同乗者全員がシートベルトやチャイルドシートを正しく着用しているか確認しましょう。

○歩行者の皆さんへ

横断前に左右をよく確認しましょう。

さらに、道路中央で左をまた確認しましょう。

外出する時は、明るい服装や反射材用品を身に付けましょう。

○飲酒運転は悪質な犯罪です。「飲酒運転をしない、させない、許さない」を徹底し、二日酔い運転を含めた飲酒運転を根絶しましょう。

(3) 9月30日は、「交通事故死ゼロを目指す日」です！

一人一人が交通ルールを正しく守り、思いやりのある交通マナーで、交通事故死ゼロを目指しましょう。

(4) 知っていますか？北海道自転車条例！

○自転車に乗るときは、子供はもちろん大人も乗車用ヘルメットをかぶり、夜間は自転車の側面に反射器材をつけるようにしましょう。

○万が一に備えて、自転車損害賠償保険等に加入するようにしましょう。

組合員の異動

令和2年8月14日現在
※()前月比

地区名	正組合員数	准組合員数
美深・音威子府	(±0名)	272名
下川支所	(-1名)	147名
中川支所	(±0名)	99名
合 計	(-1名)	518名
		1,508名

編集後記

収穫の秋を迎え農作業の忙しい時期となります。皆様体調はいかがでしょうか？季節の変わり目に風邪などひかないよう体調管理に気をつけましょう！また、9月～10月は「秋の農作業安全月間」です。北はるか管内でも作業機による農作業事故を起こさないよう安全管理に努めましょう！「気をつけよう！疲れ・慣れ・気のゆるみ」

(M・S)